



株式会社ピー・ビー・システムズ

証券コード:4447

2023年9月期 第2四半期  
**決算補足資料**

2023年5月15日

- ◆ **全社業績は減収減益（SCL事業の特定プロジェクトの影響大）**
  - ◆ SCL事業は特定プロジェクトの解決に注力（ノウハウ蓄積へ）
  - ◆ EMO事業は順調（2Qも黒字継続）
- ◆ **受注残は回復（3Q初に大型案件も受注）**
- ◆ **業績予想は据え置き（過去最高売上 & 5期連続最高益更新へ）**
- ◆ **SCL事業は旺盛なプライベートクラウド構築需要への対応とエンジニアの獲得（新卒を核とした人財採用の活発化）**
- ◆ **EMO事業は大手通信事業者との協業と企業向けメタバース推進（MetaWalkersを起点とした様々な取り組みへ）**  
（企業向けメタバースは次の案件獲得へ）

# 2Q 業績ハイライト

売上高	売上高は前年同期比 <b>19.5%減</b> 、前々年同期比 <b>5.2%減</b> 、進捗計画比 <b>20.3%減</b> セキュアクラウドシステム事業において前期から継続している、高難易度の製造業向けのVDI構築案件(以下、特定案件)の長期化が影響
営業損益 経常損益 当期純損益	営業損益 <b>▲55百万円</b> 、経常損益 <b>▲60百万円</b> 、当期純損益 <b>▲42百万円</b> 特定案件で3Q~4Qに見込まれる売上原価の増加額を前もって組み込んだことにより、受注損失引当金を49百万円計上し、利益を大きく毀損
業績予想	業績予想は据え置き 大型案件(受注金額約10.7億円)(※1)の下期業績への寄与を見込む一方、特定案件の解決時期の影響も想定

収益認識に関する  
会計基準の影響額

(百万円)

	当期実績 2023/9 2Q		前年実績 2022/9 2Q		前年同期比		前々年実績 2021/9 2Q (※2)		前々年同期比 (※3)		進捗計画 2023/9 2Q	進捗計画比	
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率	実績値	構成比	増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	<sup>2</sup> 908	100.0%	1,128	100.0%	▲220	▲19.5%	957	100.0%	▲49	▲5.2%	1,140	▲231	▲20.3%
売上総利益	<sup>0</sup> 163	18.0%	337	29.9%	▲174	▲51.6%	295	30.9%	▲132	▲44.7%	315	▲152	▲48.2%
販売費及び 一般管理費	219	24.1%	199	17.7%	19	9.6%	199	20.8%	20	10.0%	225	▲6	▲3.0%
営業損益	<sup>0</sup> ▲55	▲6.1%	137	12.2%	▲193	-	96	10.1%	▲152	-	90	▲145	-
経常損益	<sup>0</sup> ▲60	▲6.7%	138	12.3%	▲199	-	96	10.1%	▲157	-	85	▲146	-
当期純損益	<sup>0</sup> ▲42	▲4.6%	96	8.6%	▲138	-	79	8.3%	▲121	-	60	▲102	-

※1) SaaS用プライベートクラウド基盤の大型案件(大型受注に関するお知らせ 2023年4月28日 適時開示)

※2) 当社は2022年9月期の期首より新基準(「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日))を適用しておりますが、2021年9月期以前の実績については新基準を遡及して算出していないため旧基準の数値を記載しております。(2021年9月期以前の実績は当期実績と会計処理が異なります)

※3) 前々年同期比に関して、当社は過年度の業績に新基準を遡及して適用した実績値を算出していないため、同一の会計基準を適用した場合の前々年同期比較はできませんが、参考数値として新基準と旧基準を単純比較した前々年同期比を記載しております。

## 2Q 実績(セキュアクラウドシステム事業)

### 特定プロジェクトの早期解決に向け注力、技術ノウハウを蓄積

(百万円)

	2023/9 2Q	2022/9 2Q	前年同期比		2021/9 2Q (※1)	前々年同期比 (※2)	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	862	1,125	▲263	▲23.4%	952	▲90	▲9.5%
セグメント損益 (※3)	▲58	153	▲211	-	122	▲181	-
営業利益率	-	13.6%	-	-	12.9%	-	-

- 売上高は862百万円(前年同期差▲263百万円)、セグメント損益は▲58百万円(前年同期差▲211百万円)と前年同期を下回った  
⇒特定案件で新たに生じた各種の技術的問題の対応にエンジニアを集中投入した影響  
早期の解決に向け顧客・メーカーと協力して対応に注力するとともに、技術ノウハウを蓄積
- クラウド基盤構築サービスの販売は、中核病院向けのクラウド基盤構築や、パートナー(※4)との協業を起点とした製造業界の新規顧客開拓が売上に貢献

※1)当社は2022年9月期の期首より新基準(「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日))を適用しておりますが、2021年9月期以前の実績については新基準を遡及して算出していないため旧基準の数値を記載しております。(2021年9月期以前の実績は当期実績と会計処理が異なります)  
 ※2)前々年同期比に関して、当社は過年度の業績に新基準を遡及して適用した実績値を算出していないため、同一の会計基準を適用した場合の前々年同期比較はできませんが、参考数値として新基準と旧基準を単純比較した前々年同期比を記載しております。  
 ※3)実態をわかりやすく表現するために、2020年9月期3Qの決算補足資料より参考数値として全社費用配賦後のセグメント損益を記載するように変更しております。(全社費用を各セグメントの人員割合で配賦)  
 ※4)当社の業務提携先、販売代理店契約などのいわゆるパートナー契約の締結先、当社が販売する商品・サービスの製造元メーカーや仕入先企業、システム構築の協力会社(外注先)などを総称して、パートナーと表現しております。

## 2Q 実績(エモーショナルシステム事業)

### 順調、黒字継続

(百万円)

	2023/9 2Q	2022/9 2Q	前年同期比		2021/9 2Q (※1)	前々年同期比 (※2)	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	46	2	43	1493.1%	5	40	704.8%
セグメント損益 (※3)	3	▲15	18	-	▲26	29	-
営業利益率	6.6%	-	-	-	-	-	-

- 売上高46百万円(前年同期差43百万円)、セグメント損益は**3百万円**(前年同期差18百万円)、1Qに続いて**2Qも黒字を継続**
- MetaWalkers(※4)を活用した、大手通信事業者との協業によるイベント案件が堅調に推移したことに加え、1Qに受注した遊園地専用コンテンツ制作案件が売上に貢献
- 1Qに受注した企業向けメタバース構築案件(※5)が売上高、営業利益の両面に寄与

※1)当社は2022年9月期の期首より新基準(「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日))を適用しておりますが、2021年9月期以前の実績については新基準を遡及して算出していないため旧基準の数値を記載しております。(2021年9月期以前の実績は当期実績と会計処理が異なります)

※2)前々年同期比に関して、当社は過年度の業績に新基準を遡及して適用した実績値を算出していないため、同一の会計基準を適用した場合の前々年同期比較はできませんが、参考数値として新基準と旧基準を単純比較した前々年同期比を記載しております。

※3)実態をわかりやすく表現するために、2020年9月期3Qの決算補足資料より参考数値として全社費用配賦後のセグメント損益を記載するように変更しております。(全社費用を各セグメントの人員割合で配賦)

※4)4DOH(旧称)はMetaWalkersに製品名を変更しました。(製品名の変更に関するお知らせ 2023年1月16日 適時開示)

※5)メタバース市場への新たな企画開発に向けた大英産業株式会社との相互協力合意のお知らせ 2022年8月31日 PR情報開示

## 2Q 受注残高

### 受注は回復、3Q初に約10億円の大型案件も受注

(百万円)

	2023/9 2Q	2022/9 2Q	前年同期差	前年同期比	2021/9 2Q (※1)	前々年同期差	前々年同期比
セキュアクラウド システム事業	805	753	+51	106.8%	420	+384	191.3%
エモーショナル システム事業	29	9	+20	325.5%	0	+29	34617.2%
合計	834	763	+71	109.4%	420	+413	198.3%

#### セキュアクラウドシステム事業

- 受注残高は805百万円、前年同期比106.8%、前々年同期比では約2倍(191.3%)の水準に回復
- 「SaaS用プライベートクラウド基盤」の大型案件 **1,071百万円** を3Qに受注(※2)  
⇒金額の大半は下期に計上の見込み(P.7に下期の通期の見通しを記載)
- 上記大型受注とは別業界のSaaS企業(既存顧客)からも小規模のプライベートクラウド基盤構築案件などを継続受注
- 関東圏では中堅企業のプライベートクラウド基盤構築案件(データベース構築やレジリエンス含む)を受注
- 九州地場では中堅企業のプライベートクラウド基盤構築やランサムウェア対策ソフトの販売案件などを受注

#### エモーショナルシステム事業

- MetaWalkers関連の受注は遊園地向けや大手通信事業者との協業によるイベント案件が順調に進捗
- メタバースは企業向けメタバースの受注実績を梃子に、引き合いのあった見込み客へ営業活動を推進

※1) 2021/9期以前の受注残高は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)を適用前の旧基準の数値です。

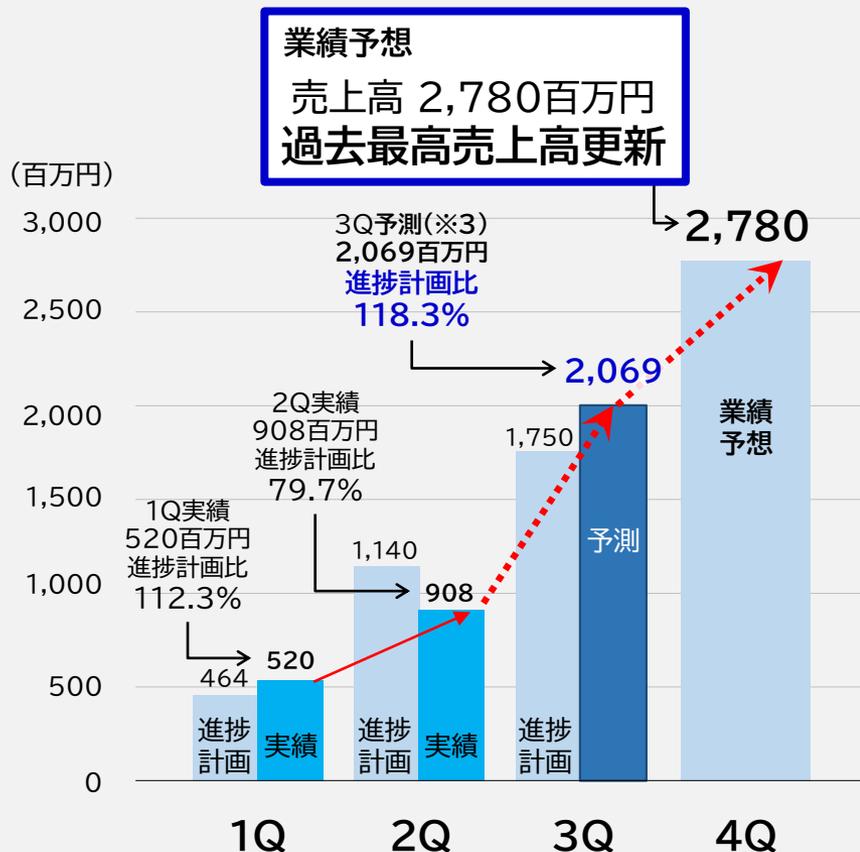
※2) 大型受注に関するお知らせ(2023年4月28日 適時開示)

# 通期までのトレンド予測

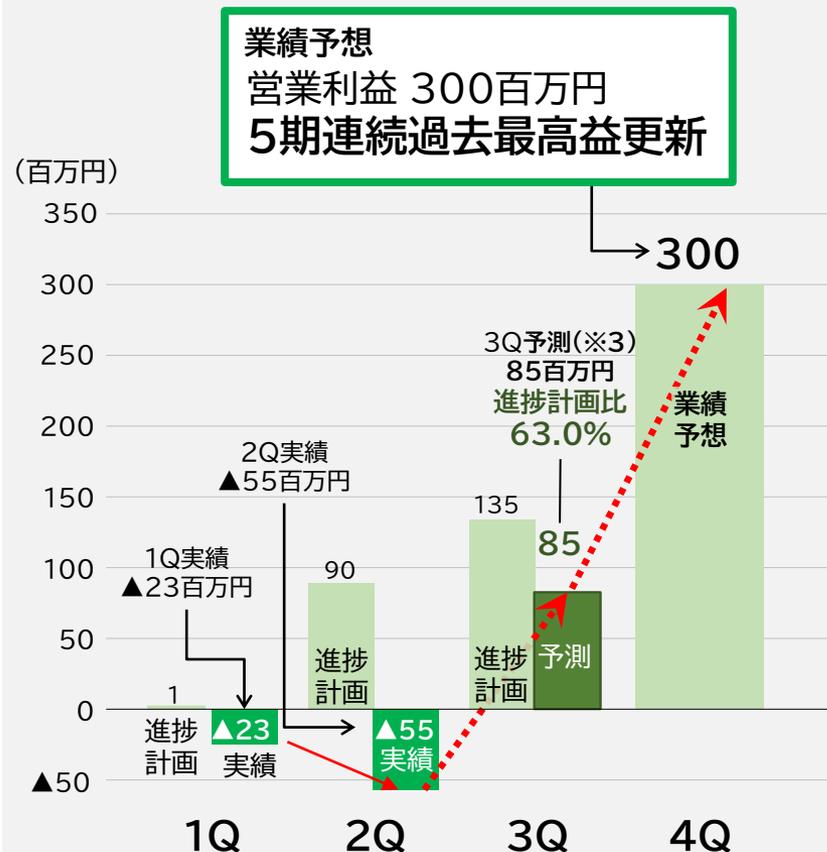
業績予想は据え置き(長期化している特定案件の解決時期の影響を想定)

売上高は3Qで進捗計画(※1)を超過し、営業利益は3Qで黒字回復する見通し(大型案件(※2)が寄与)

## 実績と予測(売上高)



## 実績と予測(営業利益)



※1)進捗計画は業績予想と併せて策定した、1Q~3Q業績の期初計画値です。

※2)大型受注に関するお知らせ(2023年4月28日 適時開示)

※3)3Q予測は本資料作成時点における最新の予測値を記載しています。

## プライベートクラウドの全面推進戦略

戦略課題

2025年の崖対策や  
オンプレミス回帰など  
プライベートクラウドの  
旺盛な需要への対応

施策

大型案件や高難易度案件  
のノウハウに基づく  
プライベートクラウド  
構築サービスの拡販

## 人財採用・育成戦略

戦略課題

プライベートクラウドの  
構築を行うエンジニアの  
獲得と育成

施策

新卒採用と中途採用の  
しくみの構築<sup>(※1)</sup>と、  
中長期を見据えた  
エンジニア教育の充実

※1)新卒採用は大学・専門学校の就職課等と関係を構築し、新卒者向けの会社説明会を高頻度で実施中(2023年2月~4月に計16回実施、参加学生数のべ128人)。中途採用は人財開発部が求人媒体を通じて求職中のエンジニアへのオファーをきめ細やかに実施し、全国在住のUターン人財や九州地場在住の人財を採用する流れができつつあります。2023年4月末日時点で中途採用・新卒採用含めて複数名が内定。

## 大手通信事業者との協業とメタバースの推進

2  
Q  
状  
況

MetaWalkersは、大手通信事業者との協業によるイベントの新規案件が当初の想定以上に拡大

企業向けメタバースは1Qに初受注した案件の制作が順調に進行



下  
期  
戦  
略

MetaWalkersを起点に様々な取り組みを進め、大手通信事業者との協業効果の拡大を図る

(360度VRコンテンツ提供、デジタルツイン等企業向け需要発掘、MetaWalkersの機能強化等の各種取り組みの実行)

企業向けメタバースは次の案件獲得に向け商談中  
(Pedyのメタバース向け組み込み開発も進行中)

# 免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招来し得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明および保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズおよびユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-24  
株式会社ピー・ビーシステムズ  
経営企画部 IR担当  
TEL 092-481-5669  
MAIL [ir@pbsystems.co.jp](mailto:ir@pbsystems.co.jp)  
URL <https://www.pbsystems.co.jp>